

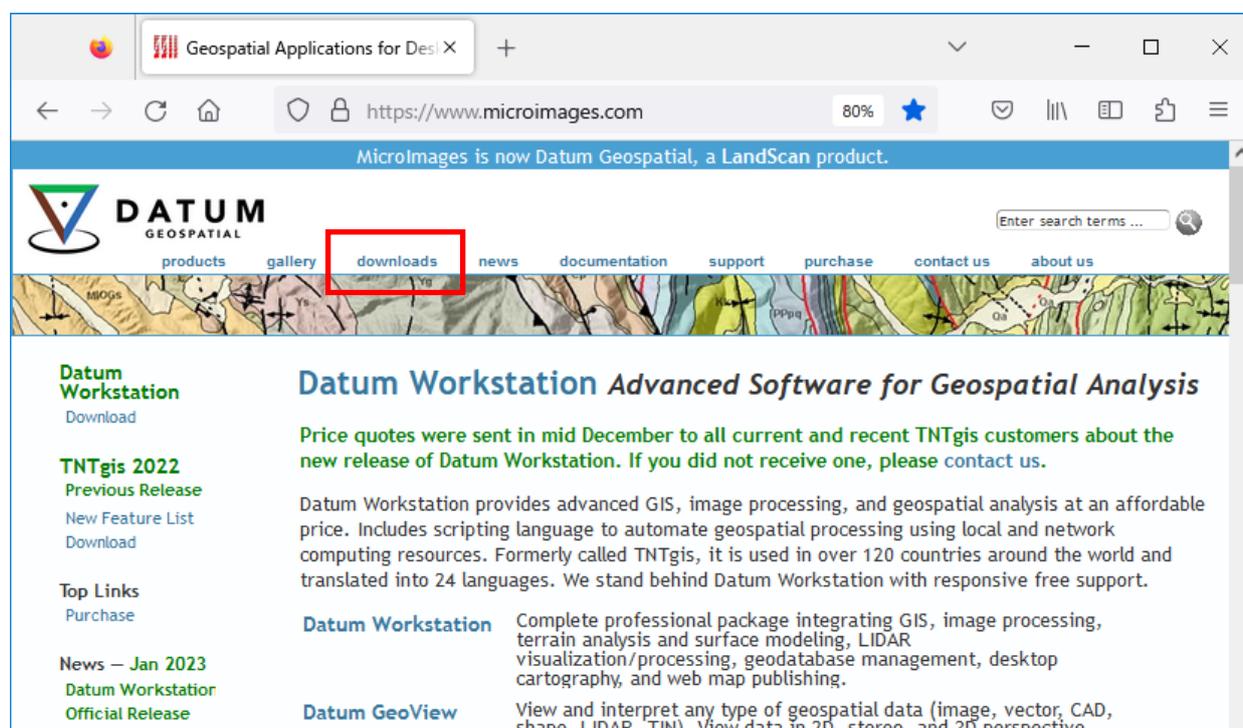
# Datum ワークステーション(旧 TNTmips) インストールガイド

## Windows 11/10 (暫定版)

OpenGIS 2023.3.17

### 1. ダウンロード

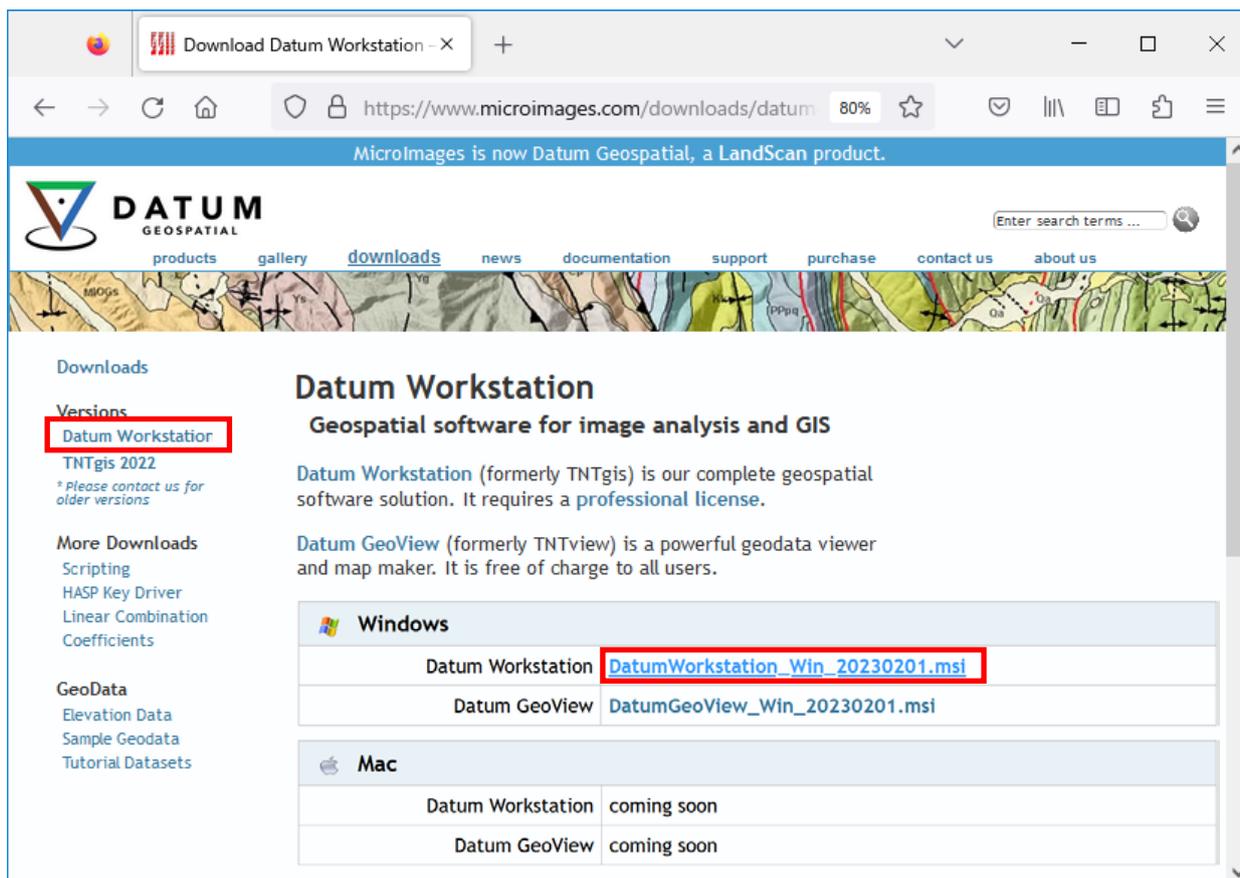
<https://www.microimages.com/> にアクセスします。



ダウンロードのページに行き、対応する OS のインストールファイルをダウンロードし保存します。

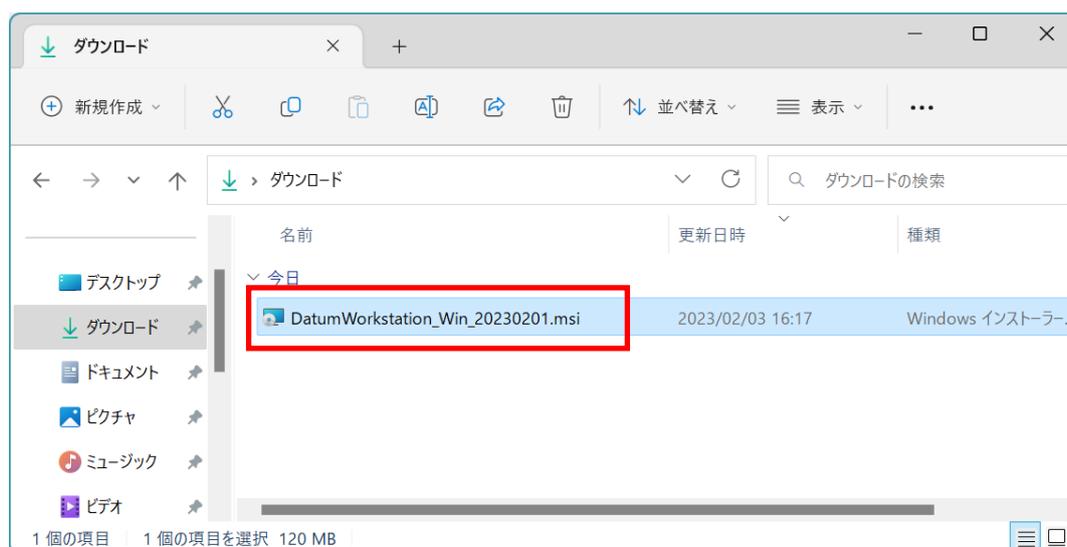
<https://www.microimages.com/downloads/index.htm>

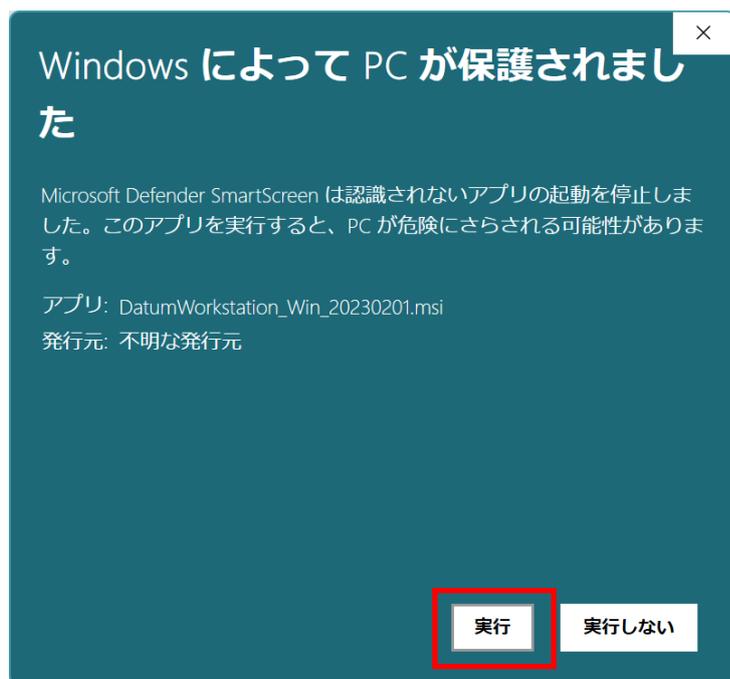
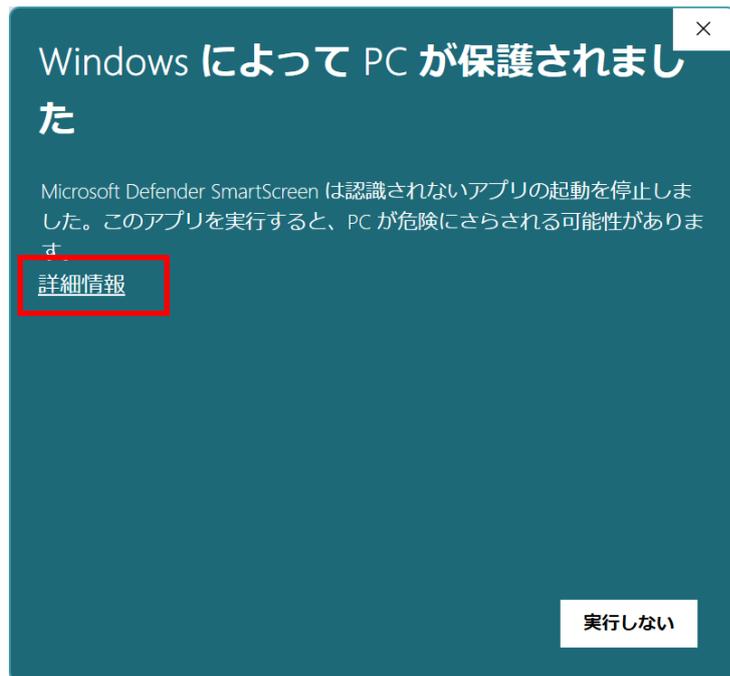
インストールファイル名は更新日で変わります。



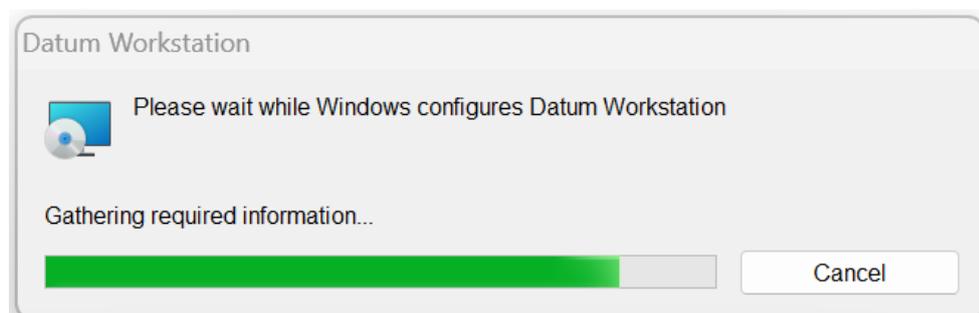
## 2. インストール

ダウンロードしたインストールファイルを実行します。

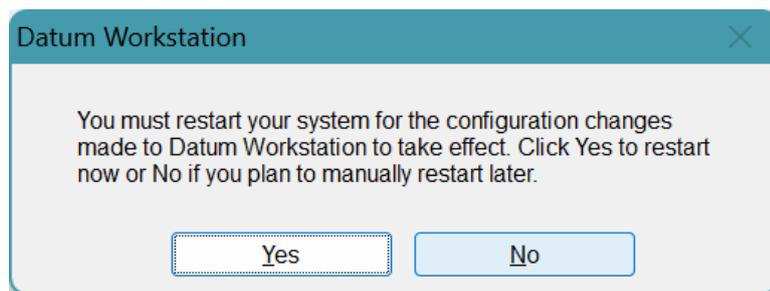




この後、ユーザーアカウント制御の画面が出た場合、実行を許可して先へ進みます。



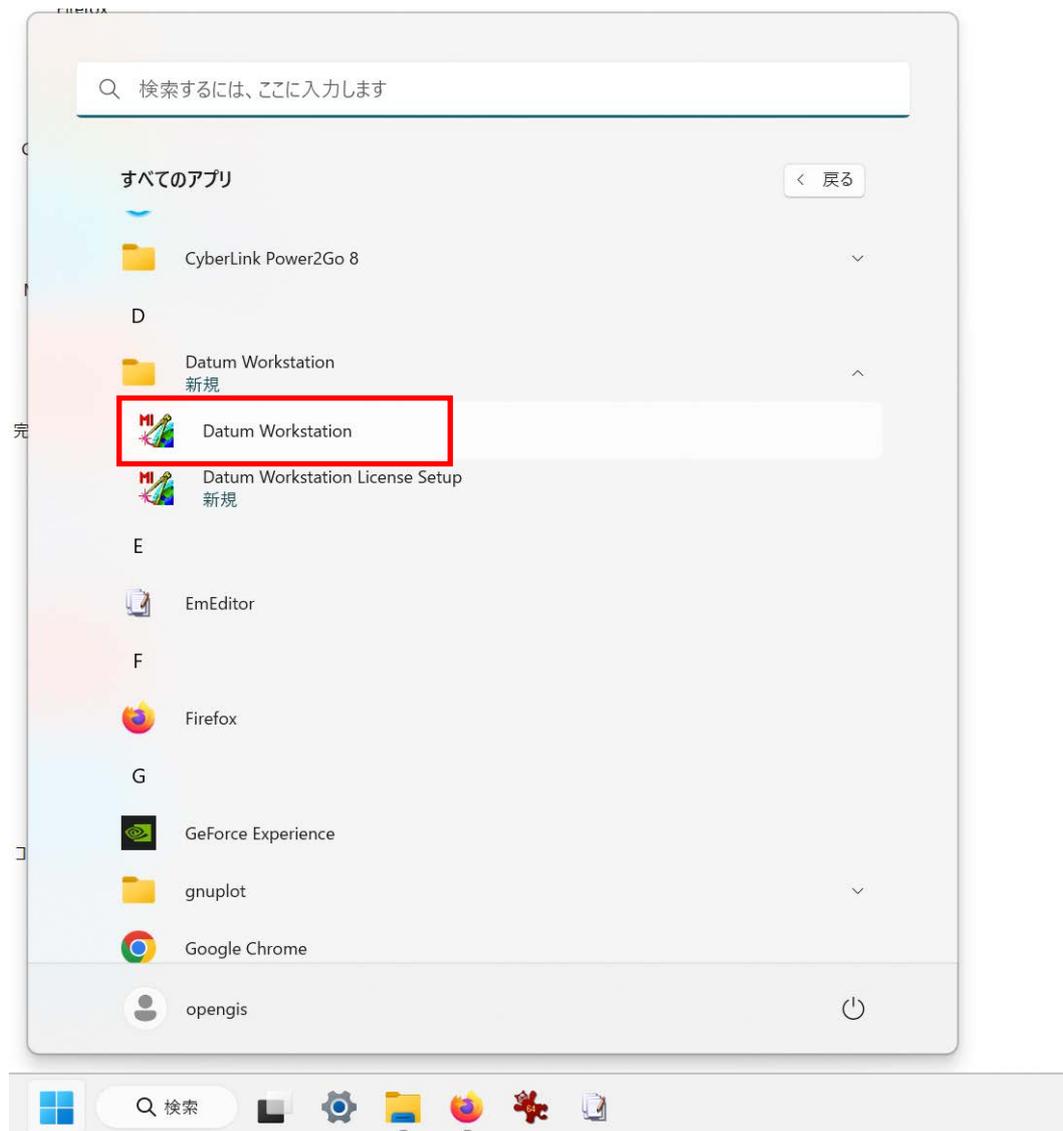
OS の再起動が要求されることがあります。後で再起動してください。



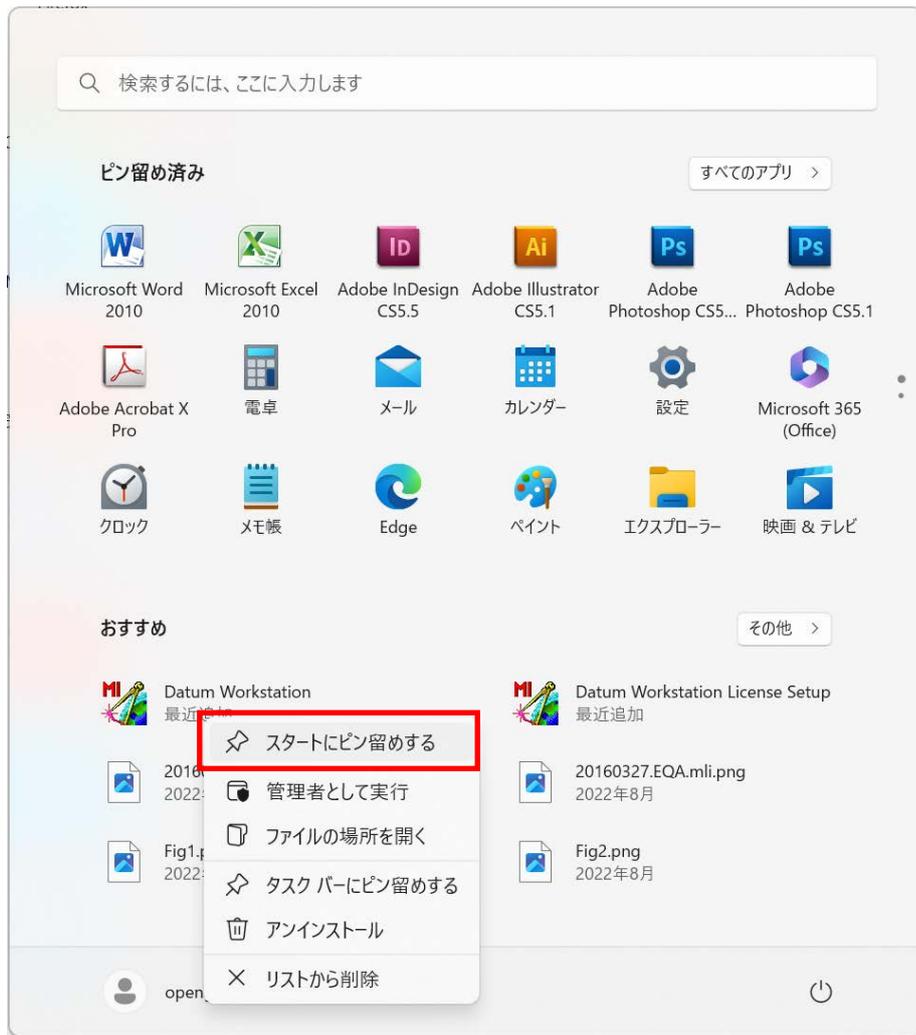
以上で Datum ワークステーションのインストールは終了です。

### 3. 起動とライセンスの設定

スタートボタン > すべてのアプリ > Datum Workstation の中の Datum Workstation を起動します。

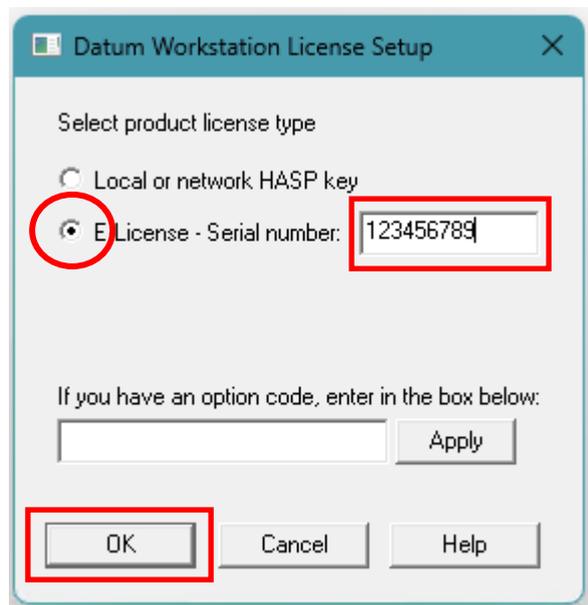


ピン留めするときは、右クリックメニューから。



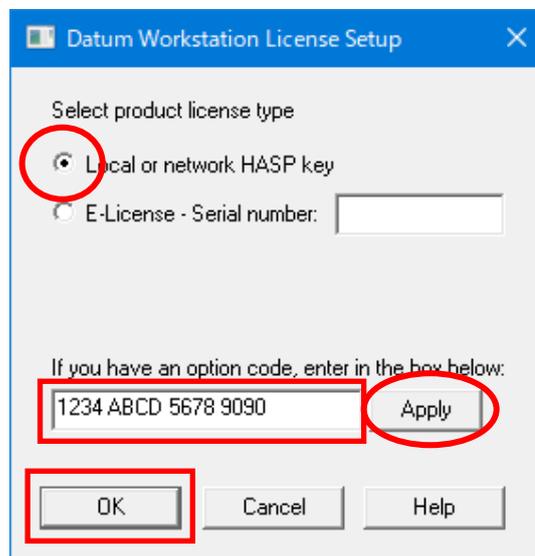
Datum ワークステーションを初めて起動したときにライセンス設定画面が表示します。

購入済みの E ライセンスコードを入力してください。



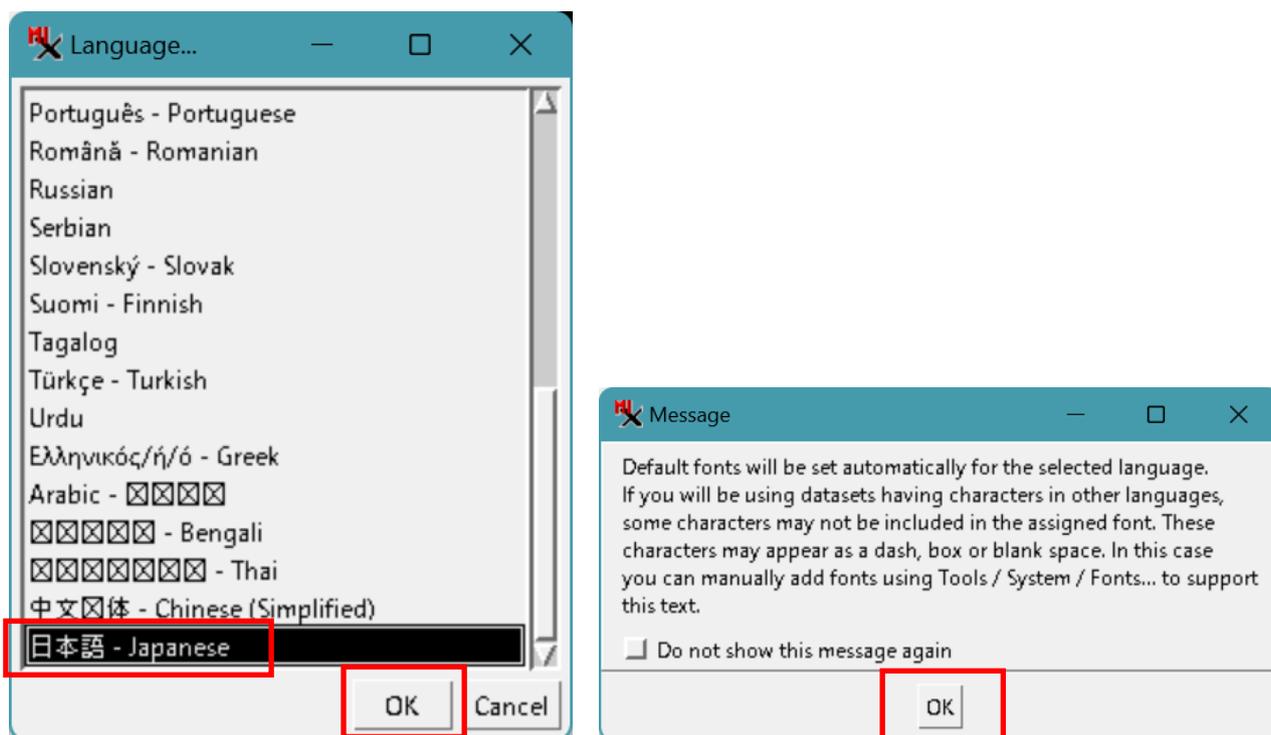
TNTmips から継続利用の USB キーでのライセンス認証の場合

DW サブスクリプション用認証コードを  
入力してください。



USB キーライセンス版の TNTmips を使用したことのない PC で初めて Datum ワークステーションをインストールした場合は、先に USB キー用ドライバのインストールが必要です。  
下記サイト  
<https://www.microimages.com/downloads/haspDriver.htm>  
より Sentinel HASP/LDK driver をダウンロードしてインストールして下さい。

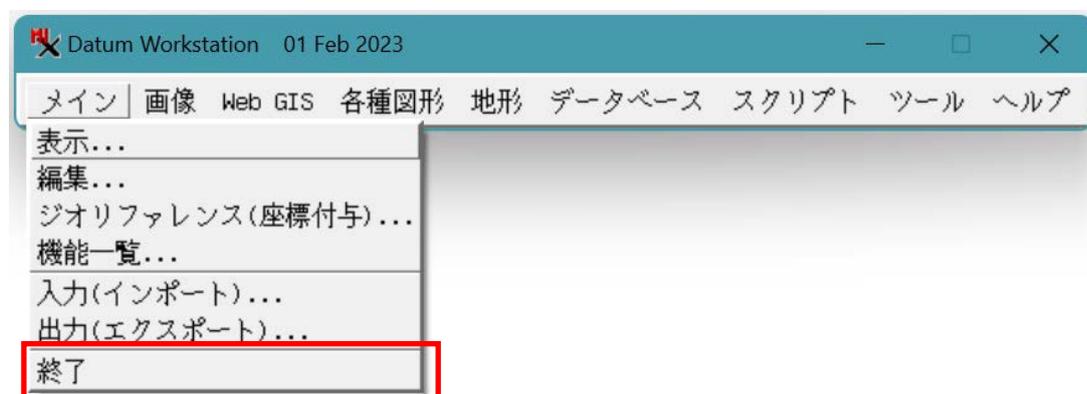
UI の言語設定画面が開きます。日本語を選択できます。



メニュー画面が起動します。



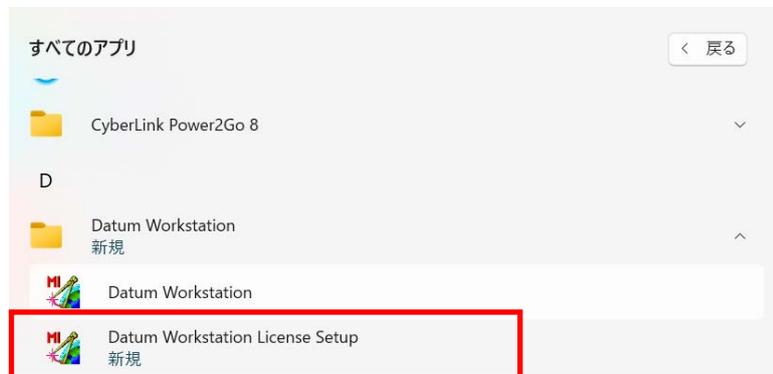
メニューの終了は [メイン] > [終了] です。



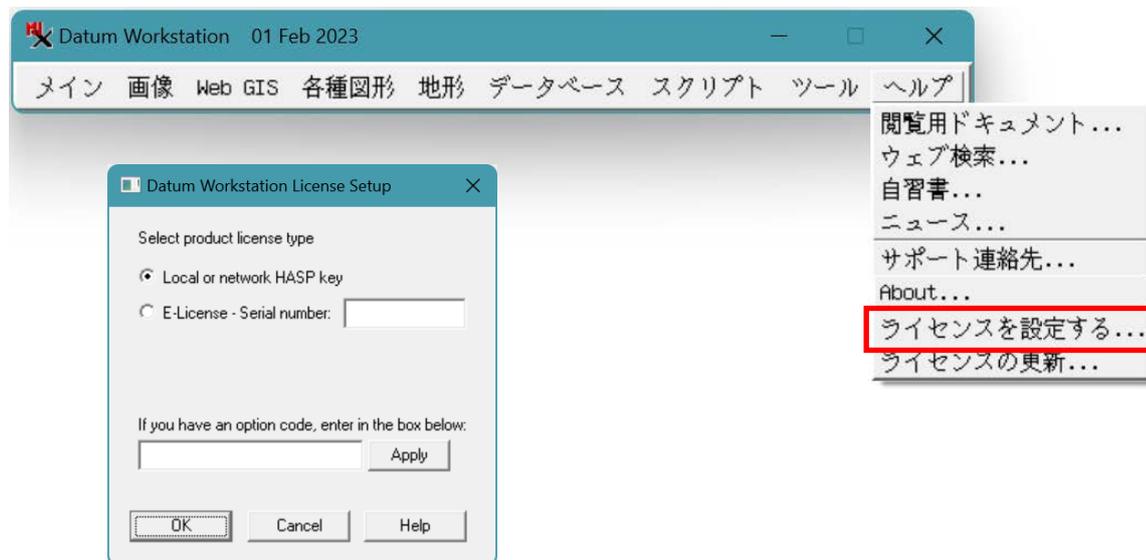
#### 4. ライセンス設定画面の出し方

スタートメニュー > すべてのアプリ > DatumWorkstation

> DatumWorkstation License Setup を起動します。

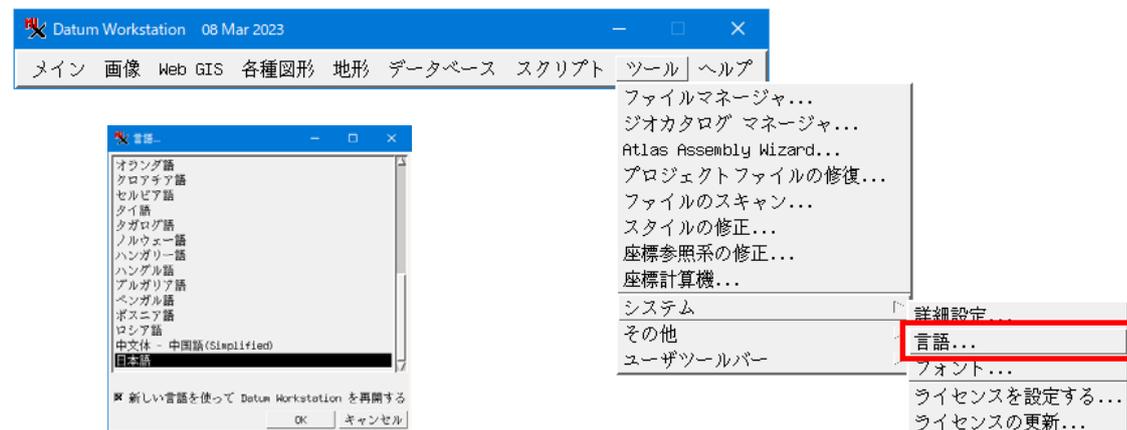


もしくは、Datum ワークステーションメニューの [ヘルプ] > [ライセンスを設定する]



#### 5. 言語設定画面の出し方

[ツール]>[システム]>[言語] から UI の言語を変更できます。

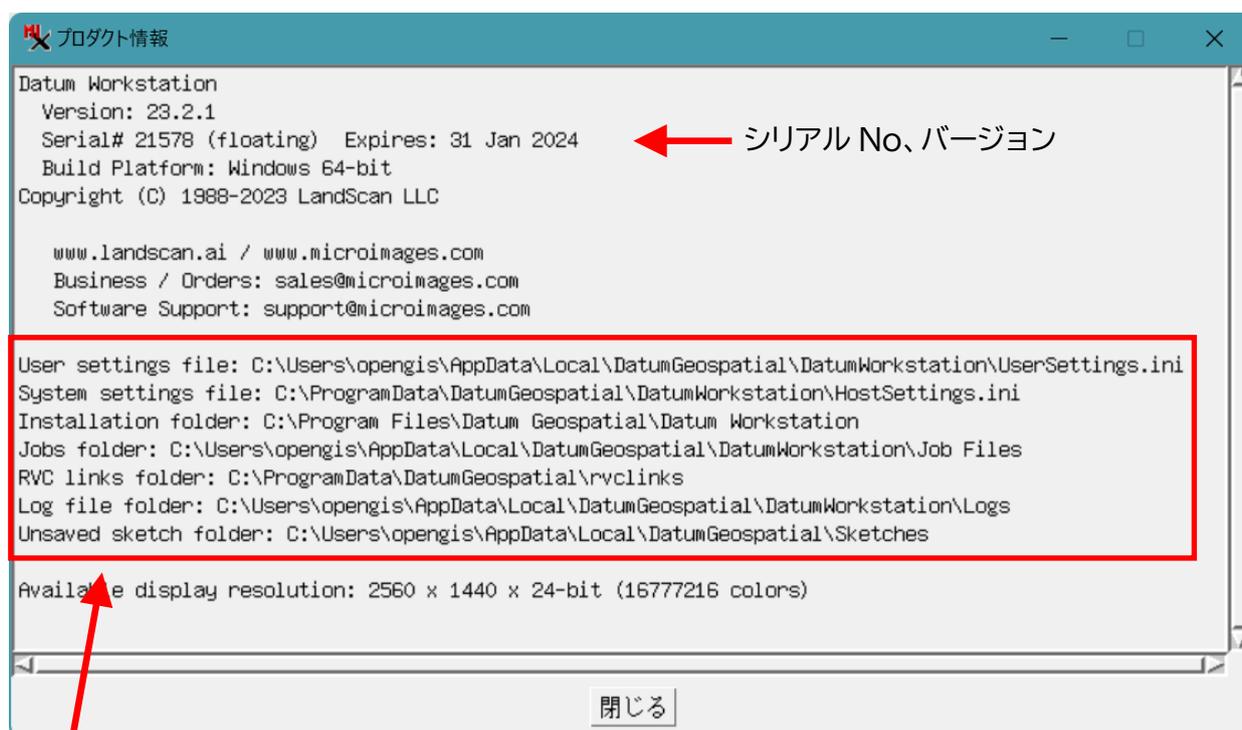


## 6. Datum ワークステーションのバージョンの確認方法

[ヘルプ] > [About...]



プロダクト情報が参照できます。お問い合わせの際は、ここでバージョンとシリアル番号をご確認の上お伝えください。



設定ファイルのパス

## 7. Datum ワークステーションのアンインストール

「設定」から「アプリ」を選択します。

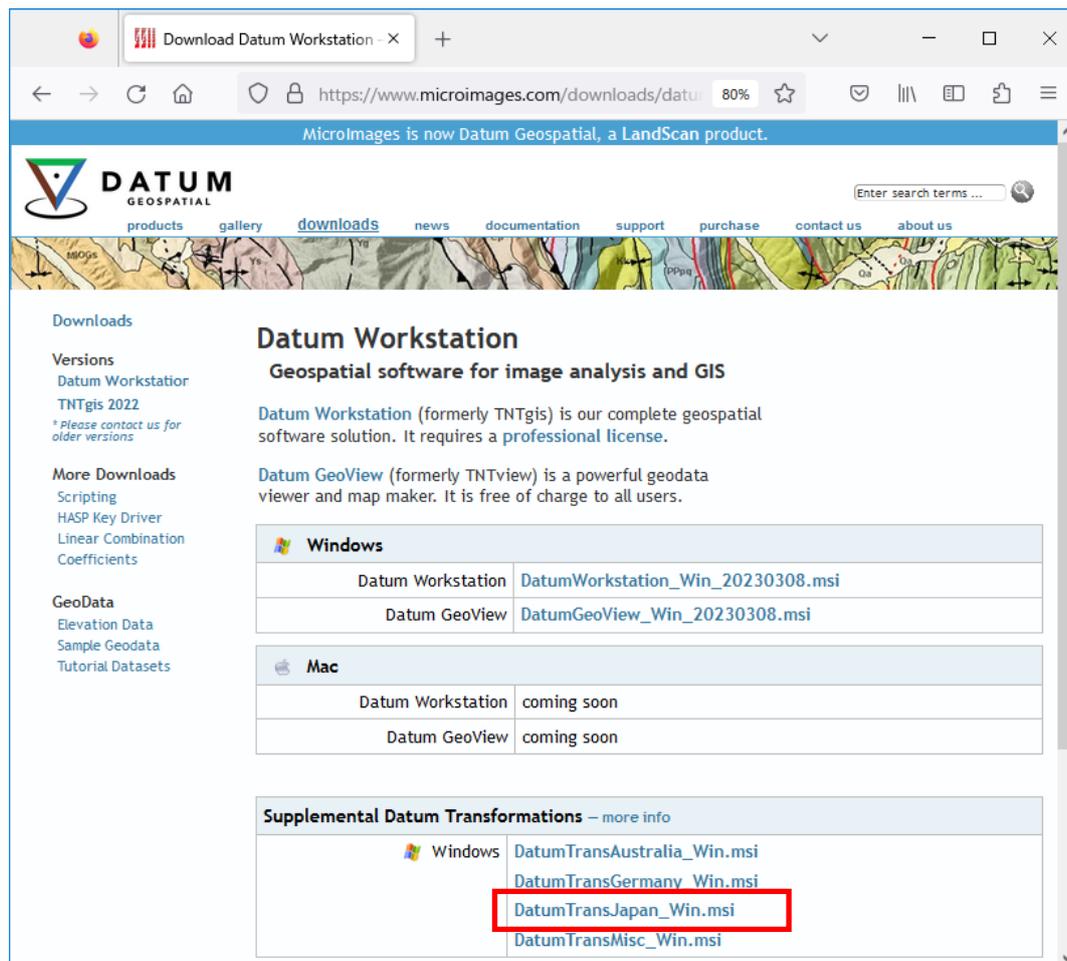


Datum Workstation のアンインストールを選択します。

## 8. Datum 変換パラメータファイル

TNTgis V2018 から、Datum 変換のパラメータファイルは、必要に応じてユーザーが別途インストールする方式に変更されました。(V2017 まではプログラム本体のファイルに含まれていました)

ジオデータオブジェクトが正しく重なって表示されない場合は、Datum Transformations をインストールすると解決します。現在問題が出ていないユーザーもインストールしておくことをお勧めします。



The screenshot shows the Datum Geospatial website. The main content area is titled "Datum Workstation" and "Datum GeoView". Under the "Supplemental Datum Transformations" section, there is a table listing download links for Windows. The link for "DatumTransJapan\_Win.msi" is highlighted with a red box.

Windows	
Datum Workstation	<a href="#">DatumWorkstation_Win_20230308.msi</a>
Datum GeoView	<a href="#">DatumGeoView_Win_20230308.msi</a>

Mac	
Datum Workstation	coming soon
Datum GeoView	coming soon

Supplemental Datum Transformations – more info	
Windows	<a href="#">DatumTransAustralia_Win.msi</a>
	<a href="#">DatumTransGermany_Win.msi</a>
	<a href="#">DatumTransJapan_Win.msi</a>
	<a href="#">DatumTransMisc_Win.msi</a>

日本用は DatumTransJapan\_Win.msi をダウンロードしてインストールします。

Datum ワークステーションから参照する.gsb ファイルおよび .ref ファイルはデフォルトでは下記フォルダにあります。

C:¥ProgramData¥DatumGeospatial¥DatumTrans